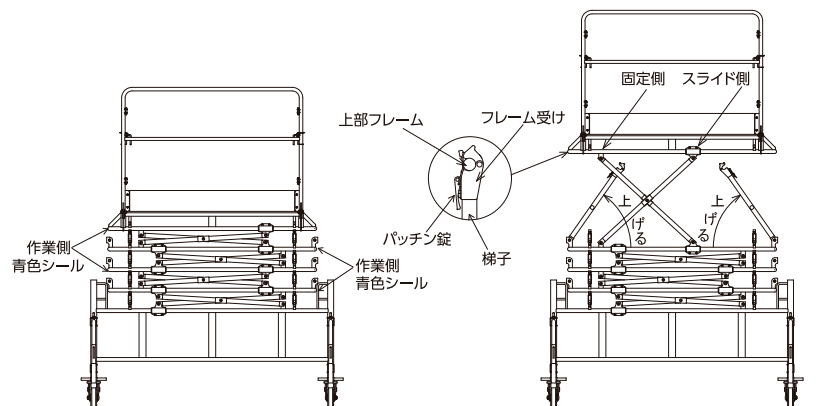


3.1 段目の上昇(降下は逆手順)

- ①1段目のパッチン錠4箇所を外し、上部床面を持ち上げて下さい。パネにより、軽い力で持ち上げることができます。
上昇作業は、スライド枠の「こちら側から作業して下さい」シールが貼付してある固定側を持って作業して下さい。反対側は補助のみ行って下さい。
- ②本体内侧に折りたたんだ左右の梯子を起こし、フレーム受けを上部フレームに隙間がないようにセットし、パッチン錠左右各2箇所を確実に留めて下さい。

- ⚠ 注意**
- 上記シールの反対側で作業をするとスライド枠が変形する恐れがあります。
 - 梯子より外側を持つと手を挟まれことがあります。
 - 上昇の際勢いよく上げると頭をぶつけることがあります。
 - 上部フレームとフレーム受けのセットが不十分だと、パッチン錠が変形する恐れがあります。



4.2 段目の上昇(降下は逆手順)

- 1段目と同様にパッチン錠4箇所を外し、フレームを持ち上げてから左右の梯子を起こし、梯子の先端のパッチン錠左右各2箇所を留めて下さい。
- 上昇作業はスライド枠の「こちら側から作業して下さい」シールが貼付してある固定側を持って作業して下さい。反対側は補助のみ行って下さい。

- ⚠ 注意** 上記シールの反対側で作業をするとスライド枠が変形する恐れがあります。

5.3 段目、4段目の上昇(降下は逆手順)

2段目の上昇と同様に組立てて下さい。

6. 作業床への乗り降り

- 作業床への乗り降りは梯子を利用し、リトラクタ式墜落防止器具等を使用して下さい。
- 落下阻止器具は手摺枠の柱に取付けて下さい。
- 扉開閉の際は十分注意し、作業床への乗り降り時以外は閉めて固定して下さい。
車輪4点に荷重がかかっていること。本体が水平になっていること。アウトリガーが確実に固定されジャッキベースが地面や床に着いていること。

7. 横移動

- 原則として作業床を最低の高さまで下げてから、アウトリガーのジャッキベースを上げて下さい。
- アウトリガーのロックレバーを緩めてからアウトリガーを折りたたみ、キャスターのブレーキを解除し移動して下さい。
移動に関しては、天井等上空空間の安全を確認して行なって下さい。
- 絶対に人を乗せたまま移動させないで下さい。

8. 注意事項



上昇及び降下時は、可動部、受け金具等を指や手で触れないで下さい。指詰め等発生の危険があります。

3 収納手順

収納手順は、組立作業の逆の手順で行います。



注意

- 下降する時はパッチン錠のリングが外側に来るようにして下さい。
内側に入る込むとパッチン錠を止めることができなくなります。 (図3)
- 収納時扉は手摺枠に固定して下さい。 (図4)

